

対談

「新しい上越市の展望とJネットへの期待」

上越市長 木浦正幸

Jネット会長 和久井博

Jネット副会長 松川太賀雄

市長就任二期目の抱負

和久井会長 まずは市長再任おめでとうございませう。始めに今後の抱負をお聞かせください。

木浦市長 これほど多くの皆様から支持をいただき感激しております。同時に、責任の重さも痛感しております。

この度の選挙で市内をくまなく回らせていただきましたが、それぞれの地域が抱える問題が手に取るように分かりました。

これからも市民の皆さんとの対話を進めながら、明るく元気な上越市を実現し、住んでいて良かったと思えるようなまちづくりを進めていきたいと、決意を新たにしています。

新しい上越市の展望

松川副会長 全国で最も数の多い十四に及ぶ市町

村による合併を成立させ、合併後の舵取りについても任せられた訳ですが、広域連携も含め、今後の市政にどういった展望をお持ちですか。

木浦市長 特例市への移行を目指し、拠点性を高めていきたいと考えます。

行政運営はパフォーマンスではなく、必要な行政サービスを、いかに効率よく提供していくかです。民間へのアウトソーシングを推進し、一方で住民自治の仕組みを確立しながら市民が主役のまちづくりを推進していきます。

合併のメリットを引き出すためにも、新市の一体感の醸成が課題となりますが、何事に対しても一つのまちとしてどうあるべきかといった視点で望んでいきたいと思っています。

上越ブランド確立の重要性

木浦市長 地域経済の自立も大きな課題です。地

域の特性、資源を活かした産業の振興と新たな地域産業の創出を図り、力強い産業基盤をつくっていくことが必要です。

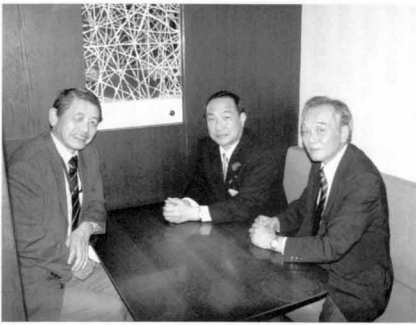
これまで受け継がれてきた、歴史、自然、文化など地域の特性、資源を大切にしながら、新たな魅力を創造して、次の世代に引き継いでいかなければなりません。そのためには、上越の産品や観光資源を含め「上越ブランド」を確立しなければなりませんと考えています。

和久井会長 上越市は、山、川、海、里といった美しく、豊かな自然や、先人たちの英知とたゆまない努力により紡がれた長い歴史があります。交通の要衝という地域特性も有し、そういった地域の重要な資源や特性を有機的に結びつけることが、市長の言われる「上越ブランド」の確立に、ひいては地域経済の自立につながるのではないのでしょうか。

北陸新幹線の開業も、その大きな転機となるで

しよう。都会とのアクセスが良くなるということ
は、来るばかりでなく、人・物・金が流出するルー
トにもなる訳です。新幹線が通ると、得てして東
京の縮小版のようなまちづくりをしがちですが、
上越市は都会人の琴線に触れるような類の魅力づ
くりを、まちづくりや特産品づくりのコンセプト
としながら、「上越ブランド」の価値として位置付
けていくべきでしょう。

木浦市長 一つのブランドを作り上げることは、
並大抵のことではないと覚悟しています。いろいろ



る試行錯誤して、失敗している自治体が多い中、
やはりブランド確立には作ることを知ってもらう
ことが重要だと考えています。その意味で、「ふ
るさと上越の応援団」として、Jネット会員の皆
さんのお力が、大変心強いものとなってきました。

松川副会長 実は、Jネット会員が上越の産品を
購入しやすくするための仕組みとして、通信販売
による「Jネット市場」を立ち上げることになり
ました。

これまでも米や味噌、酒といった物産を中心に需
要がありました。会員にアンケート調査をお願
いしましたところ、送料がネックで購入を控えて
いた実態が分かりました。この「Jネット市場」で
は送料をJネットが負担し、通信販売であつても
店頭価格と同等で購入できる仕組みとしました。
会員の自家消費ばかりでなく、知人友人への贈答
なども期待できますので、徐々に取り扱いを拡大
していきたいと考えています。

木浦市長 是非軌道に乗せていただき、広く上越
の産品をPRしてください。

和久井会長 「上越ブランド」は観光振興の面でも
重要だと思いますが、どういった仕掛けをお考え
ですか。

木浦市長 先月、北陸新幹線の開業を見据えた戦

略として、長野市と「集客プロモーションパー
トナー都市協定」を締結しました。新幹線の開業効
果を、まずは観光面で具現化するための施策の一
環です。

Jネットの皆さん方は、毎年観桜会に合わせて
「ふるさと交流会」を開催され、多くの会員の皆さ
んから上越市にお出でいただいておりますが、こ
れからは是非十三区の名所も加えていただき、滞
在も一泊二日と言わず、いろいろ見て回ってい
た
だきたいと思えます。そして、新しい上越市の魅
力をどんどん発信していただきたいと希望します。

和久井会長 今後のJネットの活動に期待して
ください。合わせてご支援もよろしく願います。
ます。

木浦市長 こちらこそ、これからも皆様とのつな
がりを大切にさせていただきます。今後も応援よ
ろしく願っています。

